

電気料金審査専門小委員会における指摘事項について

資料3

番号	委員等からの宿題内容	指摘の出された委員会	委員名	
経営効率化				
1	資料7-1スライド1について未達成だった項目が示されているが、原因、課題及び27年度の対策を説明していただきたい。 経営効率化について、全体では達成しているとのことだが、未達は目立つ。未達の部分は必ず達成すべきで、全体でよいという話ではない。まだ経営努力が足りない。 効率化を経営全般で吸収することに問題があることは北電の時に指摘したので、繰り返さない。	第20回	河野オブ、辰巳委員、松村委員	今回回答
2	27年度に関しては、効率化計画が出ていないが、この料金審査の間に出てくると考えてよいか。	第20回	辰巳委員	次回以降回答
3	来年度の計画では、関西電力の経営方針が社会的に問われていると捉えるべきであり、役員報酬は1800万円をはるかに下回る水準にし責任を負う、と表明して初めて社会的責任を果たす姿勢があらわれる。 役員報酬については、1月から査定水準にしたとのことだが、これまでは余分に払っていたということ。3年間で帳尻を合わせれば達成済みとなるが、今まで半分以上の期間達成していなくて、単年度ペースで落としても、それは未達になる。当然4月以降に更に下げて3年平均で1800万円にすることだと思っている。 元役員に対する報酬、車代、部屋の用意等については、既に止めていると思うし、原価上はゼロになっているが、実際に支出しているのであれば、ご説明いただきたい。	第20回	飯田オブ、松村委員	今回回答
4	関電は平成25年度と26年度で比較すると数値に変化がないが、あまり実績がなかったということか。東電は関電が再値上げ申請を行ったほぼ同じ時期に生産性倍増委員会合理化レポートを発表し、今後1年間は再値上げをしないとしている。そのレポートには、原子力の不稼働影響額をコスト削減で吸収しているという文言もある。今回の関電は不稼働の影響が非常に大きいと理解しているが、関電は遜色ない効率化努力をしていると胸を張って言えるのか。 平成26年、27年については、東電の目標が出ているはずなので、それと比べて遜色ないことを示していただきたい。東電の場合は東日本大震災前に、既に中越地震の影響で相当ドラスティックに修繕費を下げていた。発射台が相当効率化する前のものだとしたら、そこと比べることに不満はあるが、今後のことはきちんと示して欲しい。	第20回	河野オブ、松村委員	今回回答
5	資料7-1スライド36では資機材調達コスト低減に向けた取組について、第三者評価を受けて、概ね妥当であるとの評価を受けたと説明しているが、競争発注比率については、物品に比べ委託費は低く、拡大余地があると評価されている。なぜ委託は、競争発注比率が伸びなかったのか。平成26年度は28%、平成27年度は30%の競争発注比率を目標としているが、東電は28年度までに60%以上を目指すとしているところ、関電はどう考えているかお聞きしたい。	第20回	河野オブ	今回回答
前提計画				
6	販売電力量は前回認可と同じ想定をしており、これが減少すると、料金が上がることを北電の際に学んだ。ただ、離脱による需要減を取り戻す経営努力や営業努力が必要ではないか。 需要想定については、需要を横置きしていることについては間違っていないと思うが、それによって意図的に高くされていないかどうか、実勢に近づけた結果、料金が下げられないかどうかはこちらでちゃんとチェックする。 3240億円増えた原価と販売電力量1457億kWhの関係で単価が算出されており、販売電力量を直近見通しで割ると料金が大きくなると言うが、直近見通しと言うときには単純に原価が3240億円増えるわけではない。料金が決まるメカニズムは我々が検証しなければならない。	第20回	河野オブ、松村委員、山内委員	今回回答
7	揚水が増えている理由を説明いただきたい。	第20回	辰巳委員	今回回答
8	単価が安い石炭が減っている理由を説明いただきたい。 石炭火力が減っていることについては、安定供給を目指した結果で認めないということは難しいかもしれない一方で、本当は前の年度やらなければならないものを先延ばししているときに料金として認めて良いかということが一般論としてある。また変分改定の趣旨に鑑みて、その期間内の変更をそのまま認めて良いかという問題がある。両方の問題をこれからチェック・検討したい。	第20回	辰巳委員、松村委員	今回回答
9	風力の伸びが悪いが、風力を積極的に取り入れるための取組をしているのか。	第20回	辰巳委員	今回回答
費用の配賦・レートメイク				
10	消費者向けに新たな料金メニュー設定をされたのか教えていただきたい。関西電力は他の電力会社に比べてスマートメーターが一番早く導入されている。消費者が選べる新たなメニューがあれば是非ご提案していただきたい。またあつてしかるべきだと思う。	第20回	河野オブ	次回以降回答
その他				
11	資料6-1にある詳細な質問は次回以降お答えいただきたい。	第20回	飯田オブ	今回回答